

令和4年度 第5回 豊田市足助地域会議 議事録

開催日時	令和4年8月22日(月)	開会	閉会
		18時30分	20時00分
会場	足助支所 2階 第2、3会議室		
出席者	委員16名出席、市議 鈴木 章		
	足助支所 支所長 青木、副支所長 岩月、担当長 深田、主査 花園、主査 川口		
欠席者	1名		
傍聴者	3名		
内容	1 開会 ・市民の誓い唱和(省略) ・会長あいさつ ・鈴木市議あいさつ 2 情報提供 ・分科会について 3 足助地域会議からの答申(案)について 4 連絡事項 (1) あすけ支所だより 足助地域会議だより～あすけ羅針盤～ (2) 配布物 (3) 次回の会議等について確認		

■ 議事(要約)

2 情報提供

◆各分科会について

分科会の活動状況を各分科会代表より説明

【まるふく会議(高齢者等課題検討分科会)】

地域包括ケア企画課からの諮問を受けて地域会議のグループディスカッションで出たアイデア・手法から具体的な取組提案として①組織・相談窓口の周知、②制度づくり、③組織づくり、④「つなぐひと」づくりの4つを考えた。

【防災課題検討分科会】

防災課題解決の事業化に向け意見交換した。

自助・共助意識を高めることが大切なため、成果物を配布するだけでなく、実際に体験して話し合う事業として以下の2点を主軸として事業化へ向け検討中。

・『避難ルートマップ作成』

住民と実際に避難所へ歩いて危険箇所等を確認しながらマップへ落とし込む

・『本当に必要な非常時持出品・備蓄品の確認』

避難所の備蓄品と比較して、本当に必要な家庭の持出品・備蓄品を考えてもらう

【新規課題事業検討分科会】

陣屋跡地の利活用について意見交換した。

- ・ 足助高校生との意見交換会（7/6）、足助中学生との意見交換会（8/3.4）を実施
集客拠点施設や休憩スポットと子どもの遊び場等の活用意見をいただいた
- ・ 分科会の意見としては用途が限定的にならないユーティリティな空間を創出したい。
定期的にマルシェなどが開催されるような会場が良い
- ・ 次回、「マルシェを活かした町づくり」を提唱している鈴木美央さんと「人が集まる工夫」などをWEBで話してヒントを得る

3 足助地域会議からの答申（案）について

先回の地域会議で地域包括ケア企画課からの諮問に対し、グループディスカッションを行いアイデア・手法を出した。その結果を基に7/26のまるふく会議（高齢者等課題検討分科会）で具体的な取組案を考え、事務局がとりまとめ「足助地域会議からの答申（案）」を作成、詳細内容についてはパワーポイントで説明し委員と内容確認した。

【地域包括ケア企画課からの諮問】

第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本目標である「地域の支え合いの仕組みづくり」、「地域福祉の担い手づくり」に資する地域発の取組提案について

【意見聴取したい内容】

① 地域で支援対象者を発見するアイデア・手法

※対象者を発見できれば、様々な機関との連携や制度を活用して支援につなげることができるが、孤独・孤立、ヤングケアラーなど対象者を「発見」することが難しいケースもある

② 「地域の支え合いを推進する」「地域福祉の担い手を創出する」アイデア・手法

【足助地域会議からの答申（案）】

① 組織・相談窓口の周知・PRの強化

社会福祉協議会や地域包括支援センターなど相談窓口があることをPRすること。

② 制度の見直し・再構築

「ささえあいネット」の関係協力機関を再整理し、地域の見守りや支援対象者を発見できる体制を構築すること。

③ 新たな組織づくりへの支援

社会福祉協議会を中心とした新たな組織の構築を地域として検討しているため、必要な支援・協力をお願いしたい。

④ 「つなぐひと」づくり

- ・ 日頃から信頼関係を構築する努力を個々で行うこと。
- ・ 「つなぐひと」の役割を担ってもらうための人材育成に尽力すること。

【委員意見等】

①に対して

- ・「窓口のPRとあるが、窓口で何が相談できるか伝わるように表現してほしい
窓口があるだけではPRとして足りないと思う」

⇒答申の表現を検討する

②に対して

- ・「現状のささえあいネットはどうなっているのか？」

⇒会議体とはならず形骸化しているため、見守りは機能していない

- ・「現状のささえあいネットは高齢者の見守りだが、対象者を全世代にするのであれば、そこをもっとPRすべきではないか？」

⇒答申の表現を検討する

- ・「ささえあいネットが現状機能していない中で、事業拡大しても失敗するのではないか？地域包括支援センターにそれができるのか？」

⇒関係協力機関を実効性の高い組織に整理する必要がある。地域包括支援センターがすべて解決するわけではなく、今までどおり適切な団体、市の部署へ割り振るイメージ

③に対して

- ・「新たな組織づくりとあるが、情報の集約先はどこを想定しているのか？」

⇒社会福祉協議会足助支所を中心とした制度を想定している

④に対して

- ・「つなぐひととは地域住民を想定しているのか？コミュニティナースとかの方が対象者と接しやすいのでは？」

⇒その通りで地域住民が日頃から地域で信頼関係を築くことが大切、コミュニティナースも必要だが、地域の人が他人事とならないような関係性が重要という考え

- ・「福祉特派員とつなぐひとの違いなど関係性を分かるように表現してほしい」

⇒答申なのでどこまで表現するか整理が必要だが、検討する

今後、まるふく会議で確認を取りながら答申を完成し、9/26の前の週には地域会議委員へ答申書を送付する。

5 連絡事項

(1) あすけ支所だより 足助地域会議だより～あすけ羅針盤～

11・12月号 青木信行委員、宮川隆広委員、増田比呂子委員

次回の会議等について確認

- ・ 第4回新規課題事業検討分科会
令和4年8月30日(火) 午後6時30分から 足助支所
- ・ 第4回まるふく会議(高齢者課題検討分科会)
令和4年8月31日(水) 午前10時から 足助支所
- ・ 第4回防災課題検討分科会(コミュニティ会議安心安全部会合同)
令和4年9月2日(金) 午後7時から 足助交流館3階視聴覚室
- ・ 第4回あすけ通信編集会議
令和4年9月20日(火) 午後6時から 足助支所
- ・ 第6回足助地域会議(市長答申)
令和4年9月26日(月) 午後6時30分から 足助支所